

将来人口10万人設定を

駅周辺 思いあるが総計を目標 土地利用

市田 博 議員(一新会)

①第3次総合計画策定後6年が経過した。進捗状況を踏まえ、平成23年度の見直し結果は。また、27年度達成見直しは。総務部長 総合計画に掲げた32年度に向け、人口フレイム8万人の目標達成に概ね順調に進捗しているが、今後27年度の目標に向け基本計画に從い着実に事業を進める。市長 5年間の経過を整理した上で、23年度に

②市長は今後どのような本市のまちづくりを考えているのか。市長 四季の移りを実感でき、豊かな自然に恵まれた中にも都市的な機能を有しバランスを崩さず、人と人とのつながりを大切に「住んで良かった」「住んでみたい」を推進を求めている。

③人口フレイム8万人想定を将来人口10万人目標を提案する。市内の駅周辺の土地利用を生かすための法的縛りを緩和し、市街化整備の拡大を図ると共に持続的な成長と自立性の高いまちづくりの進んでいくことである。④JR松井山手駅周辺の



駅周辺に広がる農地(新田辺西住宅地区北側を望む)

建設部長 駅周辺の活用提案であるが、総計の8万人という設定の人口フレイムの中でまちづくりを進めている。駅周辺の土地利用の思いはあるが、現時点においては総合計画の目標に向かって進んでいくことである。

建設部長 駅周辺では新たな商業施設と大型店舗の出店計画があり、山手西・山手東地区にある低層一般住宅の協議が進んでいる。良好な住環境と、駅周辺の人のにぎわいが確保できるよう考えている。

建設部長 駅周辺では新たな商業施設と大型店舗の出店計画があり、山手西・山手東地区にある低層一般住宅の協議が進んでいる。良好な住環境と、駅周辺の人のにぎわいが確保できるよう考えている。

市の原発事故対策は ヨウ素剤備蓄は府を注視

米澤修司 議員(民主党)



大飯原発からの距離を示した地図

考えは。教育部長 財政的効果があった。本年度で委託契約が切れる三山木・大住の二小学校について改めて評価を行い、仕様書の点検や変更の必要性などを検討した上で、プロ

ポータル方式により委託業者を決定し3年間の契約を締結したい。②市立幼稚園の入園者数は年々減少している。今後どのような役割を期待しているか、延長保育の拡充などの取り組みは、

①小学校給食の民間委託は財政効果があるのかどうか疑問だ。平成25年度の民間委託についての

教育部長 園児数は全体として減少し、今後も減少が見込まれる。市立幼稚園の特性を生かした魅力あるカリキュラムの編成とともに、子育て支援の観点からの施策の拡充を考えていく必要がある。延長保育の拡充も検討課題の一つである。③今夏の市の節電の取り組み状況と効果は。また、節電することは発電と同じだ。照明器具の変更、冷蔵庫の取替えなど今後の節電の取り組みは。経済環境部長 市内にプロジェクト会議を立ち上げ、蛍光灯の間引きや庁舎ライトダウンの取り組み拡大を実施した。市役所庁舎では7月の電気

使用料を22年比21%削減できた。総務部長 省電力機器の導入については今後十分考えていきたい。④大飯原発など若狭湾沿岸には14基の原発施設があり、本市は約80kmの位置にある。原発事故発生時の市の対応策は、またヨウ素剤の備蓄、服用などの考えは。危機管理監 放射性物質の降下の恐れのある場合には放射線モニタリング、避難所設置、除染などの対策をとると市の防災計画に定めた。ヨウ素剤の備蓄は、現時点では考えていない。府地域防災計画の考え方や進捗状況を注視し対応していく。

新名神工事で今池用水は 水保でネクスコと協議

岡本茂樹 議員(一新会)

①府道から市道に移管される富野八幡線の地元区からの要望事項の進捗状況は。建設部長 通学路や一般道としての安全対策として、道路拡幅、側溝のふた、道路標示等が完成。松井から西八への通学路整備、岡村地域内道路のグリーン塗装も平成24年度内で終了。②新名神着工に伴う諸課題のうち、防賀川下流域三川合流地点での拡幅計画と上流でのしゅんせつなどの整備は。③松井地域の農業用水である今池の代替え対策は。建設部長 ④府において、23年度に引き続き虚空蔵谷川合流部までは整備予定。その上流部は、新名神の建設を視野に入れ整備。上流域のしゅんせつは、

せつは、適時対応。④今池の用水機能を確保するために、ネクスコと鋭意協議中。⑤小中学校におけるいじめ問題対策のうち、教育長の基本認識と、市の対応は。教育長 いじめは、学習権、人権、生存権までも侵害する決して許されないこと。起こりうることを認識し、いじめの無い環境づくりに、学校、保護者、地域、関係機関との連携で取り組む。⑥芸術文化行政の推進のうち文化ホール建設の1年間の検討結果は、何もしていないのでは。



新名神道の建設準備が進む今池周辺(松井地区)

水道事業者との協定は、今後の研究課題。③介護給付費の不正受給が発覚し、本市でも被害が出た。原因と対策は。保健福祉部長 移動支援事業で90万円程度の不正請求があった。府と連携して再発防止に努める。④自殺防止対策として電話相談というサポートを、慎重に検討していく。



八幡飛地開発との接続が計画されているボンネル道路(山手南地区)

飛地開発の道路接続は

準幹線への接続は困難

鈴木康夫 議員(一新会)

①八幡市飛地開発の現行案は、山手南地区の生活道路であるボンネル(オランダ語で生活の庭の意)道路に接続するものである。500戸余りの大団地の接続としては、不適切である。事業関係の見守りに加え、民間事業者との連携、ITの活用を図っていくべき。保健福祉部長 現在、

建設部長 準幹線への接続は、用地確保の点から困難と確認した。本市

ただでなく、市全体の経済活性化、芸術・文化・スポーツの振興を図るべきと考えるが。市長 心を豊かに持つことが第一。私も2期目の5つのプランの中で、地域力を高めていきたい。⑤留守家庭児童会の夏休み高学年受け入れの評価と今後の方向性は。教育部長 松井ヶ丘では6名受け入れし、低学年との混合クラスで実施し、保育プログラム編成で課題が残った。大住では5名で低学年と分けた編成により、問題なく運営できた。今後は長期の高学年対象の指導員確保が課題で、通年受け入れ

市長の思いは。①「京田辺市の歌」の普及促進策は。市長 ②市民の要望も多く、何もしないという表現はしていない。いつやるかは、さまざまな要件を勘案する中で、総合的に判断したい。教育部長 ③ホール機

能を含めた文化施設の再整備について、社会教育委員の意見も求めている。市民部長 ④市の式典や各種イベントで紹介。CDや楽譜を自治会、学校などにも配布して普及中。